

住み良いまちに全力投球!

蓮田市議会議員

はたらくにお

秦 邦雄



ご挨拶

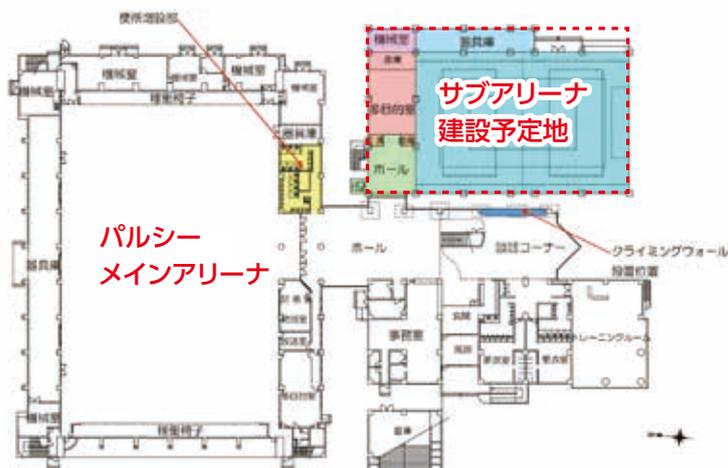
はたらくにおは、今年5月の蓮田市長選挙や蓮田市議会議員補欠選挙の実施に伴いまして、無会派(会派に属さない)の市議会議員となりました。

諸物価高騰や依然として収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症など、生活環境は非常に厳しいものがありますが、**住んで良かったと思えるまちづくりを目指して**、引き続き精一杯活動してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

サブアリーナ建設問題について

サブアリーナ建設問題とは

市は現在の総合市民体育館(パルシー)に隣接する土地に、パルシーの老朽化工事と同時に、サブアリーナ(体育館)を建設しようとしています。令和4年3月議会で議案となった令和4年度予算にその設計費等が計上されましたが、市民への説明不足や計画案自体の内容が定まっていなかったことなどから議員が反発し、令和4年度予算案への反対(6名)や、予算案に賛成した全議員により設計予算執行に当たっての附帯決議(=意見・要望等)が採決されました。



出所:蓮田市総合市民体育館大規模改修及びサブアリーナ建設基本計画

1. 請願書について

令和4年6月12日に蓮田市椿山1丁目在住のKさんから、253名の署名を添えて蓮田市議会議長あてに、以下の請願書が提出されました。なお、紹介議員は、秦邦雄と木佐木照男議員です。

○蓮田市総合市民体育館サブアリーナ建設に関する市民アンケートの実施を求める請願(概要)

令和4年3月市議会で「**サブアリーナ建設についてまず広く市民の意見を求める。**」(一部抜粋)との附帯決議が、予算案に賛成した全議員の賛成により採択されました。一方で、予算案に反対した全議員も反対理由として、本件について市民の合意形成がなされていないとしていました。

パルシーの改修(費用は約17~19億円)の必要性は理解するものの、**サブアリーナ建設(約10億円)**については、3月議会の附帯決議を可決した議員の意向に従い、市民の意見を聴くために市民アンケートを実施すべきと考えます。

市民の方からは、サブアリーナ建設は一度立ち消えになったものでなぜ今建設する必要があるのかとか、ハコモノ行政ではなくソフトにシフトして、**子育て支援、学校の老朽化対応、公園管理の徹底や福祉対策の推進**などに力を入れて欲しいなどという意見が多く聞かれます。

そこで、サブアリーナ建設を決定する前に、広く市民の意見を聴く唯一の手法である市民アンケートの実施を求めるものです。その際、建設の可否のみならず、自由記載欄を設け、多くの市民の意見を聴いて、その上で少しでも多くの市民が充実した日々を過ごせるよう、適切な決定をお願いするものです。

2. 秦邦雄は、本請願に賛成の立場から以下の討論を行いました。(概要)

この請願は、サブアリーナの建設について賛成・反対と言っているわけではなく、市民の意向を確認して欲しい、その上で決定して欲しいと訴えているのです。

裏面に続く →



市はサブアリーナ建設に関するパブコメ(意見募集、パブリックコメント)を実施して市民の意見を聴取したこととしますが、このパブコメには次のような問題があります。

- (1)市のパブコメでは、「(略) **サブアリーナ建設基本計画について、今後の設計に反映させるため**」とあり、建設についての賛否を問うていないので、市民は聞かれているとは思っていません。
- (2)そもそも聞いてもない建設の賛否について、それだけの件数(建設賛成142件、反対17件)の意見が寄せられたこと事態が非常に不思議です。ちなみに、賛否以外の意見こそパブコメの成果であると考えます。
- (3)本来パブコメは、住民投票の様に賛否を問うものではありません。
- (4)敢えて件数について言うなら、パブコメでの建設賛成意見142件(人)は、令和4年6月1日現在の市の**全人口の0.23%であり、18歳以上でみても0.27%**です。これをもって市民の意向であると判断できるわけがありません。

一方で、基本計画書には「サブアリーナ建設の位置付け」として、①大きな大会の開催に必要、②全国大会など大規模大会の誘致が可能、③防災訓練や集団接種等をサブアリーナで実施することによりメインアリーナに影響を与えない、とあります。つまりサブアリーナ建設は、メインアリーナとセットでのスポーツ利用のためであり、防災施設との位置付けはありません。なぜなら建設予定地は、そもそも洪水ハザードマップでは、50cmから3m未満の浸水地域に指定されているからです。

本請願は、多くの議員が3月議会で判断したことを評価し、議員の示した意志を実現するために市民アンケートを実施して欲しいと言っているものです。**議員の方々には、3月議会の意思を踏襲し、本請願に賛成していただくようお願いします。**

3. 請願の採決結果

(敬称略)

(注) 青字は、3月の附帯決議に賛成した議員。

請願が否決されたことは非常に残念です。この請願に賛同し署名活動に尽力された方々及び署名して下さった253名の方々に心から感謝申し上げます。引き続きこの問題を注視してまいります。

賛成議員名 (7名)	齋藤齊、栗原勇、 秦邦雄 、木佐木照男、榎本菜保、深田康孝、船橋由貴子
反対議員名 (11名)	高橋健一郎、山田孝夫、鈴木貴美子、 近藤純枝 、関根香織、 山田慎太郎 、 勝浦敦 、中里幸一、本橋稔、 中野政廣 、 豊嶋遥

6月議会での一般質問(概要)

1. 広報はすだ等の全戸配布について

質問 全戸配布は、私が令和2年6月議会で行った一般質問をきっかけに市での検討が始まり、今年4月からシルバー人材センター(以下センター)による配布が開始されたもの。センターの配布状況は。

答弁 各地区のリーダー10人を含め90人体制により毎月5日間で配布しています。世帯数に対する配布部数の割合(配布率)は、4月が91%、5月が92%となっています。

質問 大変な配布作業を担っているセンターの方々のヤリガイにも繋がるような広報誌であるべきで、そのための市の責務は重いと考える。紙面等の工夫・改善が必要で、例えば、おしまいのページに月間スケジュールを掲載するのはどうか。

答弁 多くの世代に親しまれるよう、内容の充実等見直しを行ってまいります。月間スケジュールについては、見直しの中で参考とさせていただきます。

2. 学校給食における食材費の高騰について

質問 現時点での影響は。

答弁 市は主食として米の回数が多いことから、小麦粉等の価格高騰の影響が少なく、直ちに給食費を値上げする状況には至っていません。

質問 今後さらに高騰することが想定されることから、少しでも早く対策を講じることが必要では。

答弁 速やかに対応できるよう努力してまいります。

(注)議会最終日に、給食の食材費高騰分を市が負担することを含んだ補正予算(案)が追加提出され、可決しました。

3. コロナワクチン4回目の接種に向けて(内容省略)



蓮田市議会議員

はたくにお

〒349-0114 蓮田市馬込1-350-8 TEL&FAX 048-764-0998
mobile/090-1504-4103 HP/http://www.hatakunio.jp

